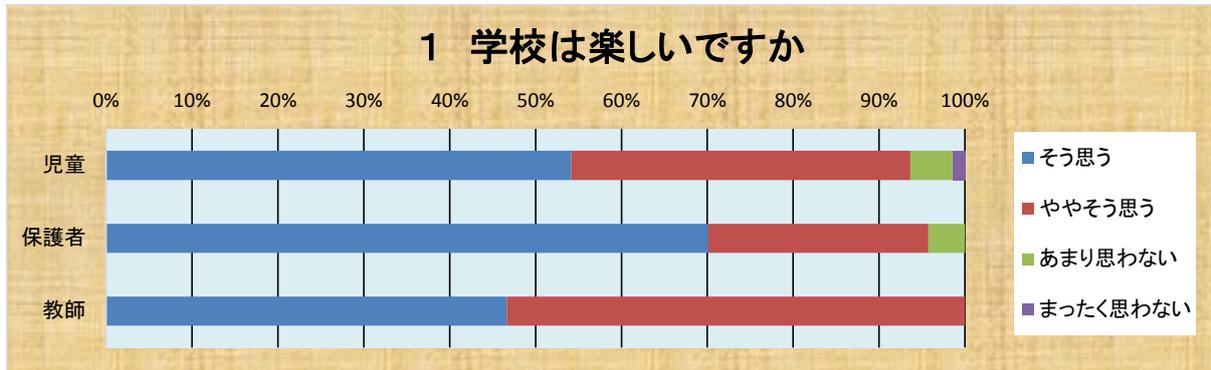
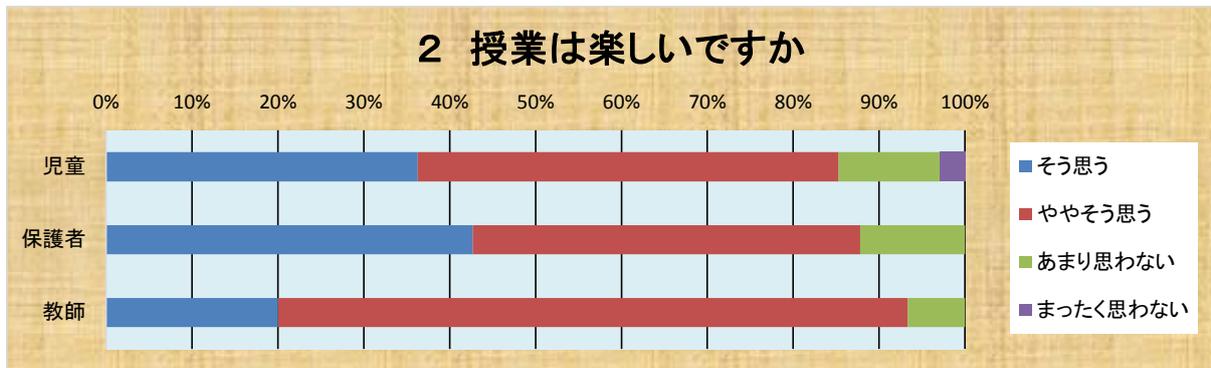


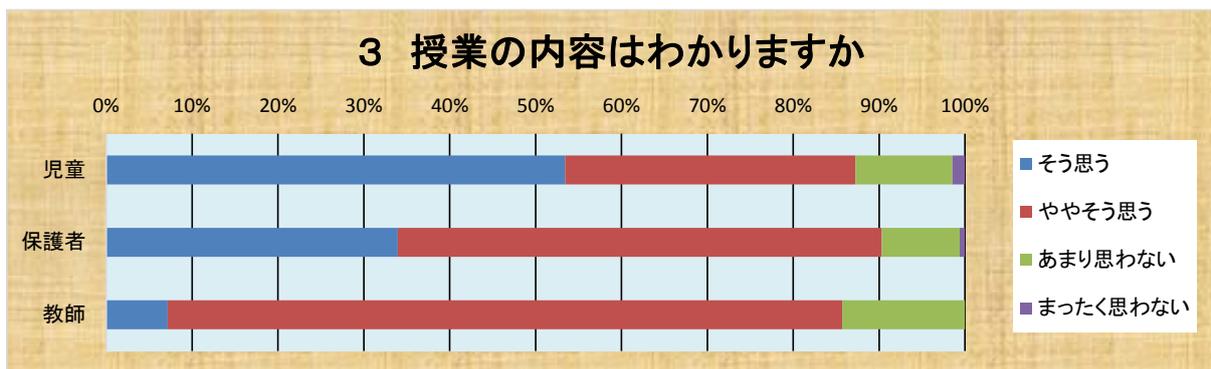
「学校評価・教育活動等に関するアンケート」保護者・児童・教師比較結果



設問1「学校は楽しいか」に対して「そう思う」「ややそう思う」と肯定的な回答が保護者、児童、教師ともに9割を超えている。学校が楽しいと感じる要因には様々なことが考えられるが、これからも、わかる・楽しい授業づくり、学校行事などの充実を進め、すべての児童が楽しく感じる学校にしていきたい。

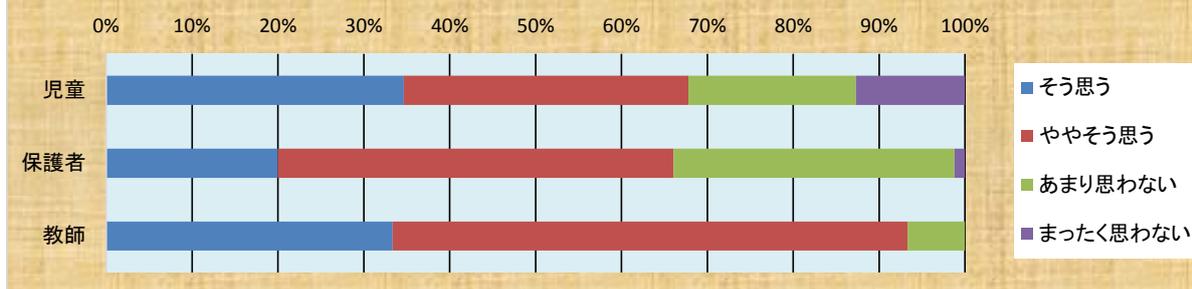


設問2「授業は楽しいか」に対しては、保護者、児童の8割以上が良い評価をしているが「あまり思わない」「まったく思わない」という回答も皆無でない。今後はこのことを真摯に受け止め、「誰もが楽しい」と感じられる授業をめざしたい。



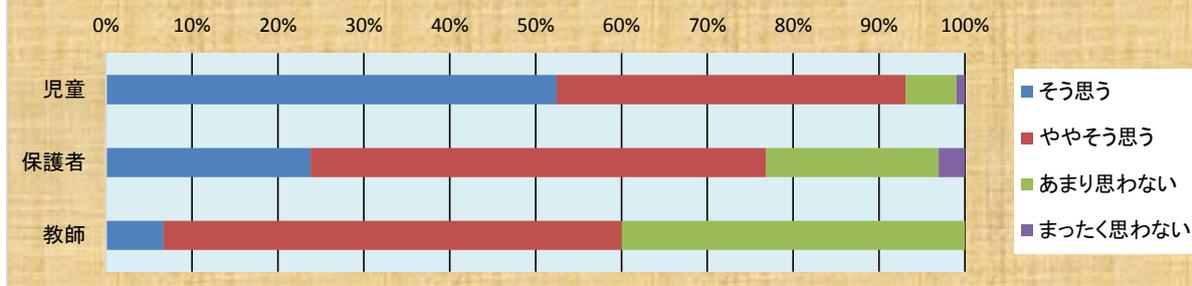
設問3「授業の内容はよくわかるか」に対しては、肯定的な回答が保護者、児童、教師ともに8割を超えている。今後も研鑽を重ね、教師一人ひとりの授業力を高めていきたい。

4 授業中進んで発表しますか



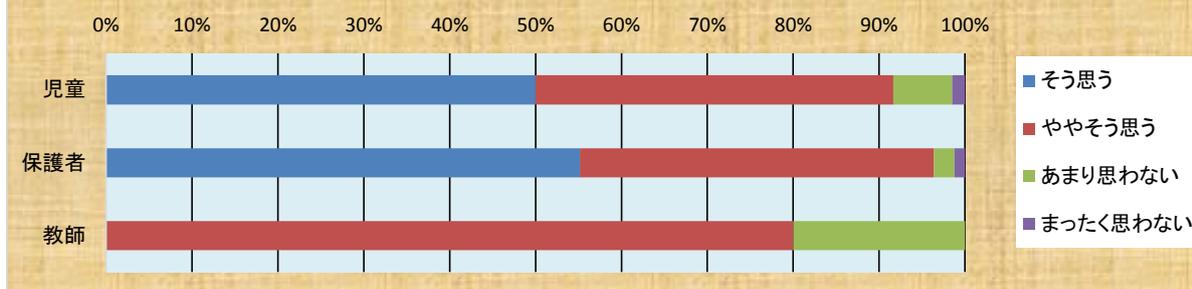
設問4「授業中進んで発表するか」に対しては、保護者、児童ともに3割前後が「あまり思わない」「まったく思わない」と回答していることから、今後も児童が「いかに学ぶか」児童を「いかに学ばせるか」などの視点から、授業への参加度を高める工夫をしたい。

5 先生や友達の話をしっかり聞くことができますか



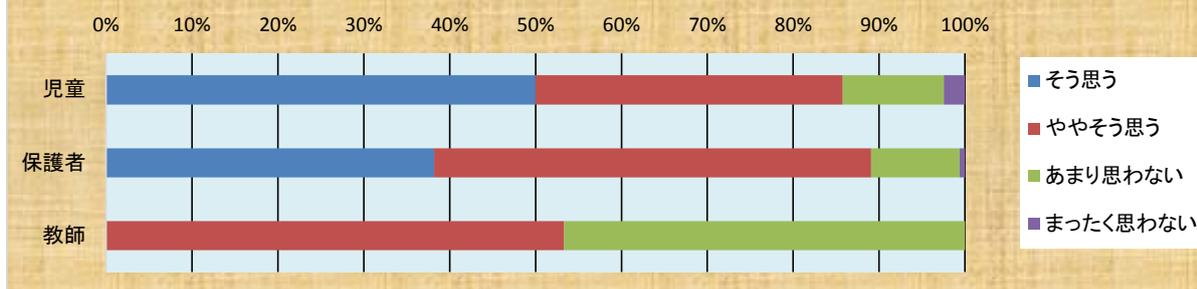
設問5「先生や友達の話をしっかり聞くことができるか」に対しては児童の肯定的な回答が多い一方で、教師、保護者の側からみると一概にそうとは言い切れない。今後も授業や集会などを通して、他人の話をしっかり聞く姿勢を涵養したい。

6 学校のきまりを守っていますか



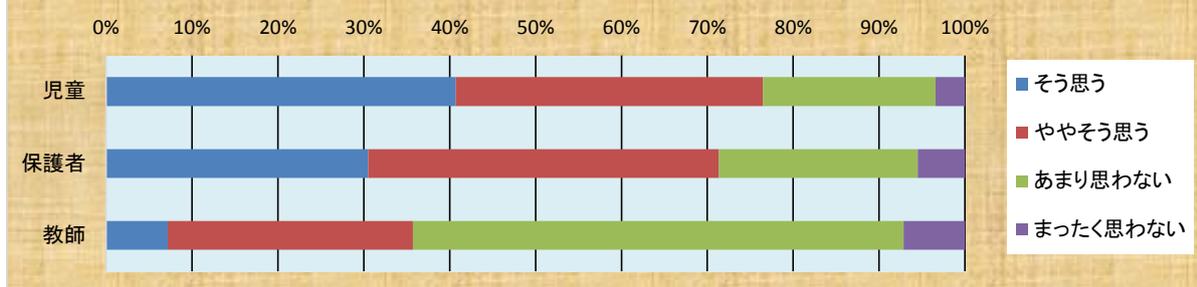
設問6「学校のきまりを守っているか」については保護者、児童ともに肯定的な回答が多く、きまりを遵守しようとする意識が高い。

7 学校であいさつや返事ができていますか

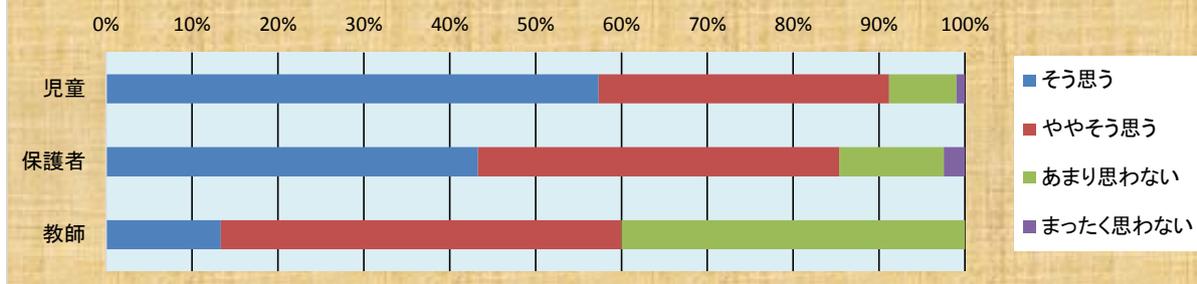


設問7「学校であいさつや返事がしっかりとできているか」は、児童、保護者ともに肯定的な回答が8割を超えている。今後も教師自らが率先してあいさつを行い、集会や各学級においてその大切さを伝えていきたい。また、児童会やPTAによるあいさつ運動などを積極的に進め、地域の方々にも毎日元気にあいさつのできる子どもを増やしたい。

8 持ち物をきちんと持ってきていますか

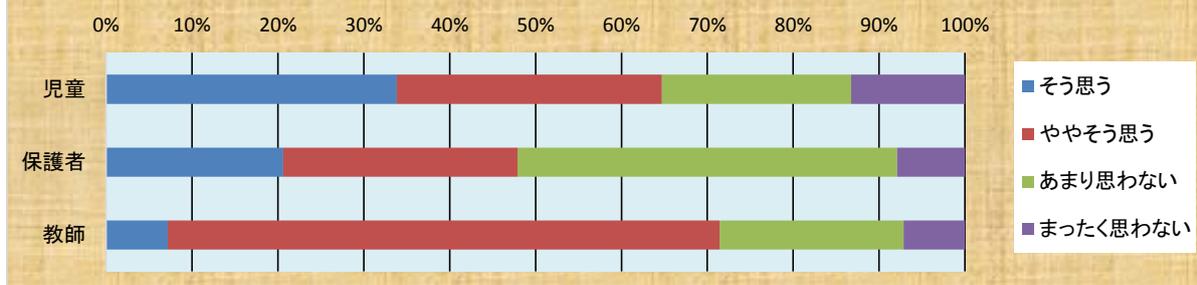


9 時間のけじめをつけていますか



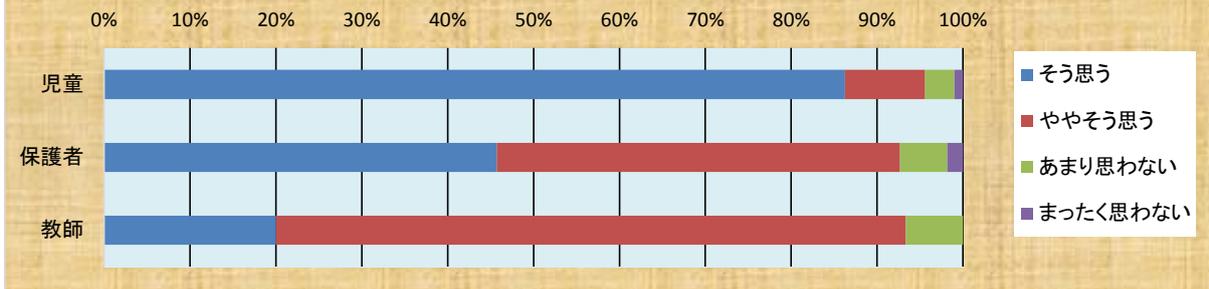
設問8「持ち物(忘れ物)」設問9「時間のけじめ」に関しては教師からの評価が学校生活での実態を表している。忘れ物によって学習活動や当番活動に支障をきたすことがないように、また、より授業にしっかり取り組めるように、学習規律のルールを徹底させながら、基本的な生活習慣が身につくよう指導を重ねたい。

10 読書をすすんでしていますか



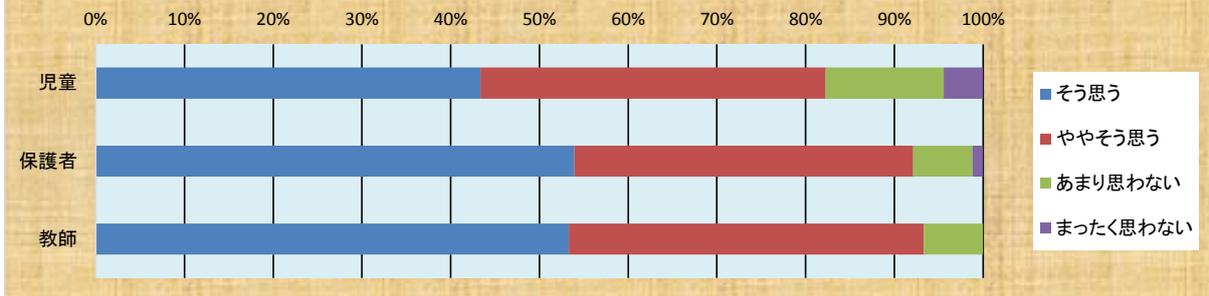
設問10「読書」については残念なことに半数の児童が「読書ばなれ」の状態を表している。ゲームやインターネットの普及など様々な環境の変化も要因の一つと考えられるが「読書は心の栄養」を合言葉に、今後も学校においては朝読書や読書週間、読み聞かせ、多読賞など、さまざまな啓発活動に積極的に取り組みたい。また、家庭においても親子で読書に親しむ時間を持っていただけたらと思う。

11 仲の良い友達がありますか



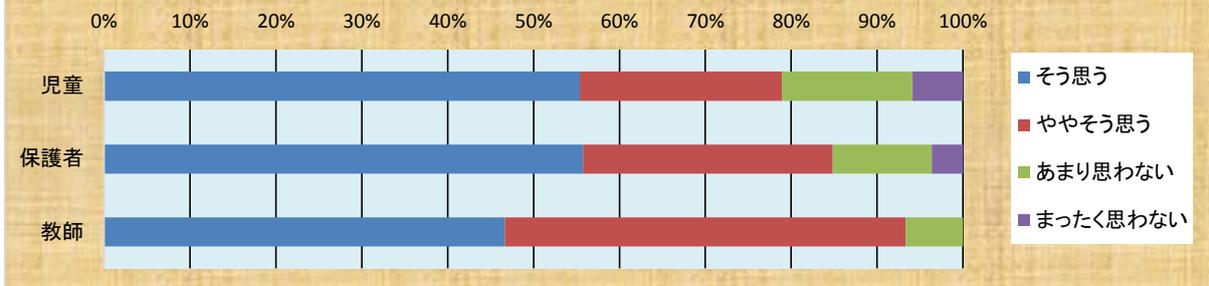
設問11「仲の良い友達がいるか」については、児童、保護者、教師ともに肯定的な回答が9割を超えている。今後も児童の人間関係の変化に気をつけながら、学級における温かい人間関係づくりや、異学年が交流する活動を継続したい。

12 よいことをした時や頑張ったとき、先生はほめてくれますか



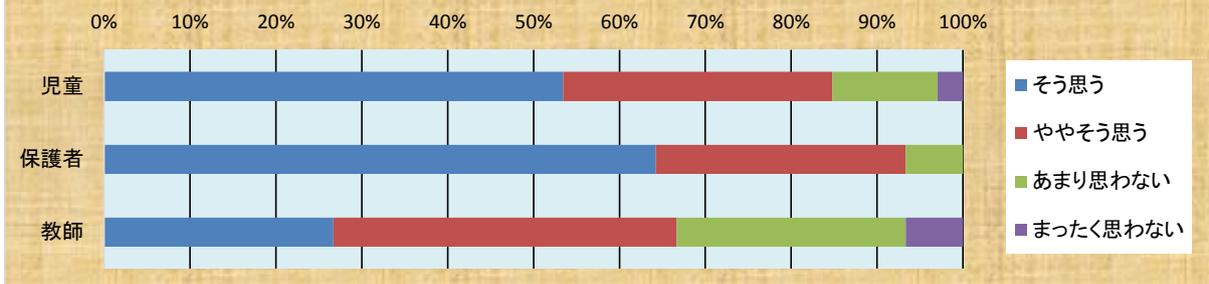
設問12「先生はほめてくれるか」に対しては、肯定的な回答が多く、概ね良好な関係といえる。しかしながら、否定的な回答の保護者、児童を考え、教育相談などの機会や全職員による児童への働きかけを通して児童と教師の良好な人間関係づくりにより一層努めたい。

13 放課は外で元気よく遊べますか



設問13「放課は外で元気よく遊ぶか」の結果には、今年度から始めたACP(アクティブ チャイルド プログラム)の取組が奏功していることが現れている。放課や体育時などに思いっきり身体を動かすことにより、早寝早起きなどのよりよい生活習慣の形成を家庭と連携してめざしたい。

14 給食は残さず食べますか



設問14「給食は残さず食べているか」に対しては、児童や保護者は肯定的な回答が多いが、教師からの判断は厳しい。栄養価に富み、偏りのない食事が提供される給食を体調や体質に応じ、残さず食べさせたい。